

【刑 法】

【問題1】

甲と乙は、Aが留守の間にA宅に立ち入って金品を盗みそれを山分けしよう
と相談し、甲がA宅の鍵のかかっていない勝手口から立ち入り、乙は付近の道
路に逃走用の自動車を停車させ運転席で見張りをすることに決めた。ある日の
午前10時頃、甲と乙はAが外出するのを確認し、予定通り甲がA宅に立ち入
り、書斎で金品を探していると、意外にもAの父親Bが在室しており、「誰だ、
泥棒」と大声をあげた。そこで、甲は、たまたま隠し持っていた護身用のナイ
フを取り出し、Bの顔のあたりに近づけ「騒ぐと殺すぞ。金を出せ。」と脅し
た。命の危険を感じたBが机の方を指さすと、机の上に現金100万円の入っ
た封筒があったので甲はそれをボストンバッグの中に入れた。すると、急にB
が逃げ出したので、甲が「待て」と追いかけると、あわてたBは玄関のあたり
でつまずいて転び、右足に全治10日の打撲傷を負った。甲は、急いで屋外に
出て、乙の運転する自動車に乗って逃走した。甲及び乙の罪責を論じなさい(た
だし、特別法違反の点は除く。)

【問題 2】

丙は、ある日の夜、長年交際して別れたCを公園に呼び出し、Cに対する報復の気持ちからCの腹部を包丁で刺して殺害した。その直後、丙は、倒れているCの横にあったCのハンドバッグの中に財布と携帯電話があり、財布の中にクレジットカードと運転免許証が入っているのを確認した。丙は、Cの身元がわかると自分の犯行が発覚することを恐れ、財布の中からクレジットカードと運転免許証を抜き取り、携帯電話と共にこれらを持ち去り、逃走の途中で川の中に投げ捨てた。丙の罪責を論じなさい（ただし、特別法違反の点は除く。）。

※ 解答用紙の記入に際しては、【問題 1】、【問題 2】と見出しをつけて記入しなさい。